



国労せんだい

No. 2603
2011年5月15日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

4・11 第7回執行委員会・第2回闘争委員会
4・24 統一地方選挙投票日
(喜多方市議選 長沢勝幸氏、米沢市議選 我妻徳雄氏 当選)
5・9 第8回執行委員会

遺族支援募金手渡す

仙台東電区分会 床上浸水被害の救援物資も

故鈴木富士夫氏遺族に

仙台東電区分会では、昨年11月8日、53歳の若さで帰らぬ人となった同分会の組合員である鈴木富士夫氏のご遺族に対し、遺族支援募金の取組みを行ない、彼岸の際手渡す予定であったが、この度の震災により手渡す機会を失っていた。加えてご遺族が津波により罹災したため、分会は救援物資とともに、遺族支援募金を手渡した。

遺族支援募金の取組みを行った時点では、ご遺族は奥様と小学6年生と中学3年(当時)のお嬢さん、養母様の4名であった。またこの度の地震による津波で、亘理の自宅が床上浸水の被害に遭ってしまつたため、分会は、地方本部において支援物資の受け取りをしてもらうと同時に、

浸水したものの、幸いにして皆無事に避難した。3月中は避難所において過ごし、4月からは自宅に戻り、2階の部屋でなんとか日常の生活を取り戻している様子。4月14日、奥様とご息女二人にくろう会館にて、全国の仲間から届いた救援物資の中から必要なものと、「遺族支援募金七十万円」を手渡すことが出来たという。殆どの日用品や家電製品が水に浸かり、がっかりしていた所であり、大変喜んでいたと報告されている。

被災地での活動は 防じんマスク必携 西田隆重氏から500枚

被災地で活動する皆さんへ
これは使い捨て式防じんマスクです。
本紙を読んで正しく使用しなければ
十分な効果が得られません。

このマスクが使用できる環境

粉じん(ほこり)が多い環境

アスベストを吸い込むと健康被害を起こす可能性があります。

このマスクが使用できない環境(作業)

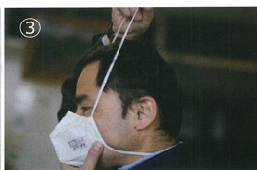
有機溶剤(シンナー)・有毒ガスがある環境

酸欠の環境

アスベスト含有建材を除去する作業(アスベストが非常に多い環境)

使い方(1)

- ①マスクを袋から出し下側の締めひもを伸ばします。
- ②下側の締めひもをマスクを前にして首にかけます。
- ③マスクを広げて、上側の締めひもを頭の後ろへ回します。



使い方(2)

- ④上側の締めひもの留め金を下げて長さを調整します。
- ⑤マスクの位置と締めひもの強さを調整します。
- ⑥鼻当てを指で押さえてマスクを密着させます。

神奈川労災職業病センターの西田隆重氏より、5月12日、防じんマスク500枚が地方本部に届けられた。

西田氏は、06年2月25日に開催された、第3回地本アスベスト対策委員会(アスベスト問題学習会)の講師として参加した。

くなど労災職業病に詳しい。西田氏はマスクと掲載の説明チラシを同封し、正しい装着をして作業等ににあたってもらいたいという。

地方本部から劣悪な作業環境の被災地での活動には是非活用してもらいたい物資。【次頁へ続く】

新入社員が国労加入

社会人採用 震災以降、つらく悲しい状況の中、水戸から朗報が届いた。水戸地方本部土浦地区分会で2011年度の新規採用者である、中村賢太郎さんが国労加入を決定した。中村さんは、JR東日本に社会人採用者として入社後、牛久駅に配属となり、同じ職場で働く国労組合員の先輩の働く様や、仲間を大切にする姿を見て加入を決定。分会によれば、中村さんは「国労は組合の仲間を大切にされる所だと実感し、また仕事を分け隔てなく教えるさまは懐かしく、人間力の高い先輩であると感じました。この方についていけば間違いない、その方が所属される組合は頼りになるに違いないと思いました」と、加入の動機を述べているという。

激励先 国労水戸地方本部気付国労土浦地区分会
〒310-0022
茨城県水戸市梅香一丁目5-24
FAX JR 055-22249
NTT 029-231-6424

TSSの委託契約解除

震災による津波の影響で、仙石線や石巻線は壊滅的な打撃を受けたが、その余波がJRからTSS(東北総合サービスKK)へ業務を委託している、いわゆる業務委託駅の一部契約が解除されていることが関係者の話で明らかになった。それによれば、野蒜駅、蛇田駅、渡波駅、女川駅は営業が出来ない(業務がない)ため、契約解除がなされたという。なお、解除された駅で勤務していた出向社員は前谷地駅でバス代行輸送の案内業務を指示され従事している。

水戸地本牛久駅で

5月5日付 36歳

社会人採用

震災以降、つらく悲しい状況の中、水戸から朗報が届いた。水戸地方本部土浦地区分会で2011年度の新規採用者である、中村賢太郎さんが国労加入を決定した。

中村さんは、JR東日本に社会人採用者として入社後、牛久駅に配属となり、同じ職場で働く国労組合員の先輩の働く様や、仲間を大切にする姿を見て加入を決定。

分会によれば、中村さんは「国労は組合の仲間を大切にされる所だと実感し、また仕事を分け隔てなく教えるさまは懐かしく、人間力の高い先輩であると感じました。この方についていけば間違いない、その方が所属される組合は頼りになるに違いないと思いました」と、加入の動機を述べているという。

組合員被災状況集約

4月30日現在 最終集約へ全力を

地方本部は震災後の被災状況把握に全力を挙げており、4月7日の余震による被害の追加報告が終次第、ほぼ全容が明らかになる。5月中旬には調査の最終報告が出来る見通しとなっており、4月30日現在で集約された結果を報告する。

▼家族死亡	7人
▼家族安否不明	4人
▼本人負傷	1人
▼家族負傷	1人

【前頁から続き】

ただし、説明図にもある通り、このマスクは防じんマスクであり、粉塵やほこりに対しての対策マスクである。

フィットテストを必ずおこないます



フィットテストの方法：マスクの表面を手で覆い息を吐きます。このときにマスクと顔の接触している部分から空気が漏れないことを確かめます。もしも漏れを感じたら再度マスクを調整します。

使用後のマスクはすぐに廃棄します

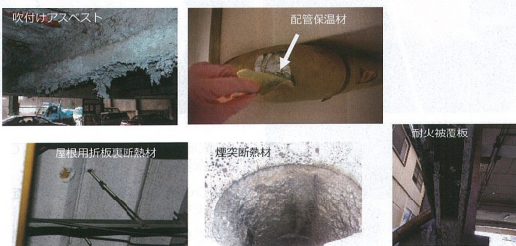
使い終わった使い捨て式防じんマスクとフィルターは密閉できる袋に入れて廃棄します。



作業着は他の衣類と分けます

防じんマスクを使う環境での作業では衣類にも防じんが付着しています。作業用の衣類とそれ以外の衣類を分けなければ作業中は防じんマスクで防じんを防護しても移動や作業後に衣類から出る防じんを吸ってしまいます。作業着は作業が終わったらできるだけ早く着替えます。

次の建材は使い捨て式防じんマスクでは除去することはできないので所属長などの指示を受けます



詳しい情報
マスクメーカー
3M: <http://www.mmm.co.jp/ohesd/particulate/>
重松製作所: <http://www.sts-japan.com/products/bojin>
興研: <http://www.koken-ltd.co.jp/bojinmask.htm>
労働科学研究所（フィットテスト研究会）:
<http://www.isl.or.jp/service/fittestinstructor.html>
厚生労働省: <http://www.mhlw.go.jp/>
中皮腫・じん肺・アスベストセンター: <http://www.asbestos-center.jp/>
〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5F
電話 03-3683-9765
E-mail center@toshc.org
東京労働安全衛生センター
<http://www.metoshc.org/index.html>

アスベストは除去できないため、石綿が建材に使われている恐れが多い、いわゆる「瓦礫」の撤去作業等には使用できない。アスベスト除去作業等には専用のものがあり、作業レベルに応じて区分されている。被災地においては、こうしたことも配慮し、二次被害

（アスベスト暴露）に遭わないよう細心の注意を払い行動するようにあらためて要請する。
【不明な点は地本アスベスト対策委員会まで】

希望通りの異動実現

幹総（出向先）→郡総（地元）へ

情報ピックアップ

鈴木氏は2007年1月に、仙台車両センターから幹総TKKに発令されて以降、自身の体調の問題を訴え、郡山地区への転勤を希望していました。

今回の異動は、JRとの和解以降、支部において出向からの復帰では2例目、転勤と合わせて3例目の希望職場への復帰となりました。

会社の対応の変化を感じられる結果といえます。支部はこの間、鈴木氏本

人と台車分会との連携を強め、地方本部や郡工支部の指導や協力を得ながら運動を進めてきました。

出向期間の再度の延長など課題は残りますが、一方で出向期間の満了を待たずにJRに戻されたという成果も確認できました。引き続き、転勤問題等、残された課題の解消に向けて、運動の強化が求められています。

【仙台総合車両所支部機関紙 団結 2011年5月6日 第369号より転載】

行動予定

各支部・分会代表者会議

5月15日（日） 13時

国労会館6F

支部・分会・分連協代表

春闘事務局総括会議

5月15日（日） 15時

国労会館6F

11春闘事務局構成員

福祉問題学習会

5月29日（日） 15時

翌朝解散 秋保・岩沼屋

11年度退職・12年度退職

予定組合員

第34回アスベスト

5月22日（日） 13時

国労会館4F

地本・各支部対策委員

第35回アスベスト

6月11日（土） 13時

郡山駅前ビックアイ

地本・各支部対策委員、各支部分会代表（福島県・郡山工場・山形県）、及び参加希望者

支援物資の活用状況

◇この間の支援物資の活用状況についての報告です。ただし3月から4月初頭までは記録がないため掲載できません。また混雑に紛れ、一部報告漏れも存在しますがご了承ください。

▼4/7 仙台信通区分会 ▼4/8 物資配送（JR高層アパート） ▼4/10 物資配達（石巻） ▼4/11 仙総支部運転分会 ▼4/12 仙台宮城野運輸区分会 ▼4/13 仙台駅連合分会、仙総支部台車・車体分会 ▼4/14 自動車支部、小牛田駅連合分会（石巻）、仙台駅連合分会 ▼4/15 仙台駅連合分会、仙台電車区分会（故鈴木氏家族） ▼4/19 物資配達（石巻、駅・保線関係）、前地本書記岡崎氏 ▼4/22 小牛田駅連合分会（石巻） ▼4/24 物資配達（石巻） ▼4/25 小牛田駅連合（石巻） ▼4/26 仙台信通区分会、石巻方面物資発送 ▼4/28 仙台信通区分会、石巻方面物資発送、郡山地区（JRアパート関係）への救援物資 ▼4/29 物資配達（南仙台） ▼5/3 物資配達（相馬） ▼5/4 物資配達（仙台地区） ▼5/5 物資配達（女川） 5/10 物資配送（JR文化町アパート）

退職のお知らせ

3月31日付

赤間 秀一さん

小牛田運輸区

エルダー

佐々木 照彦さん

郡山駅連

エルダー

4月30日付

大内 啓司さん

郡工貨物

退職

安藤 忠広さん

郡工装置科

退職

平塚 裕昭さん

仙台信通区

エルダー

阿部 茂夫さん

貨物宮城

嘱託

熊谷 義久さん

貨物宮城

嘱託

斎藤 健さん

新庄連合

エルダー

三上 敦子さん

仙台病院

退職

長い間お疲れ様でした